

湯けむり  
温泉夫婦日記



アニメ

(9話「その長がなぐもドジデレ」



の凰火さんが「あんまりだつて」

その後も勝手に妄想しちゃったアイツな本です。

お前は生理中の女の子か!?! 位イライラしていたというか、いつもに増してよいかしら、尻が酷かったような...

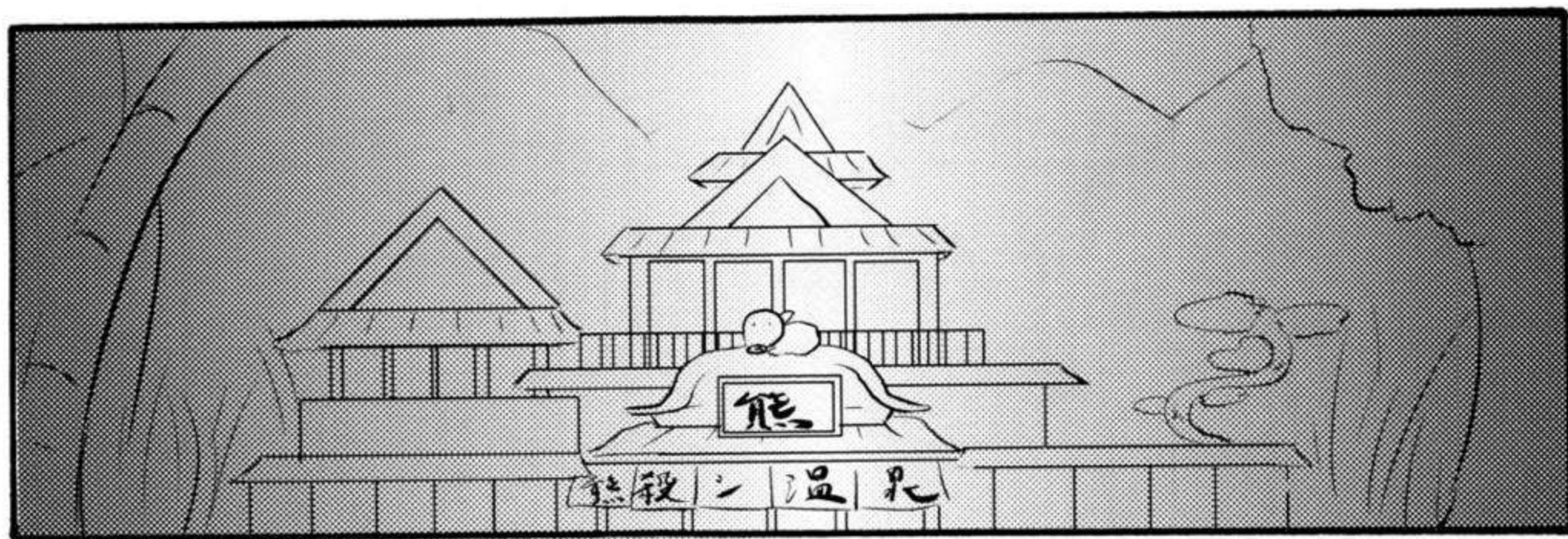
...セクシーもドジデレも一切ありません。  
大層申し訳ありません。



という本を昔かいたんだよ狂乱二冊目にコピーで幻の狂乱オンリーで！  
はじめましてこんにちは碧愛(あおな)こずです。  
前々からこのネタを描き直そうと思ってたので今回はそれです。  
もしかして読んだことある方なんて...いるのだろうか...いや...でも...  
なのでその後のどうでもいいいちゃらぶかきおろしつきです。  
そもそもなんで描き直そうなんて思ったんだろうって思い始めながら  
かいてみました。

...とりあえずあの凰火のフォローを印刷所製本の本の形にしたかった  
...のもあるんだろうな...だってひどかったものほんとうは凶華様大好き  
なくせにもうツデレ眼鏡め！

そんな感じです。よろしくお願いします。









わーわーわーわー  
わーわーわーわー  
わーわーわーわー

十字

楽しいなあ  
月香あ!!

今宵の酒は  
最高じゃのう  
母君!!



んんん

?

しゅん



何か用か?

おん



僕  
何しに来たんだ  
酒  
何だ  
んんん



凶華様と月香の  
宴に水を差しにきて

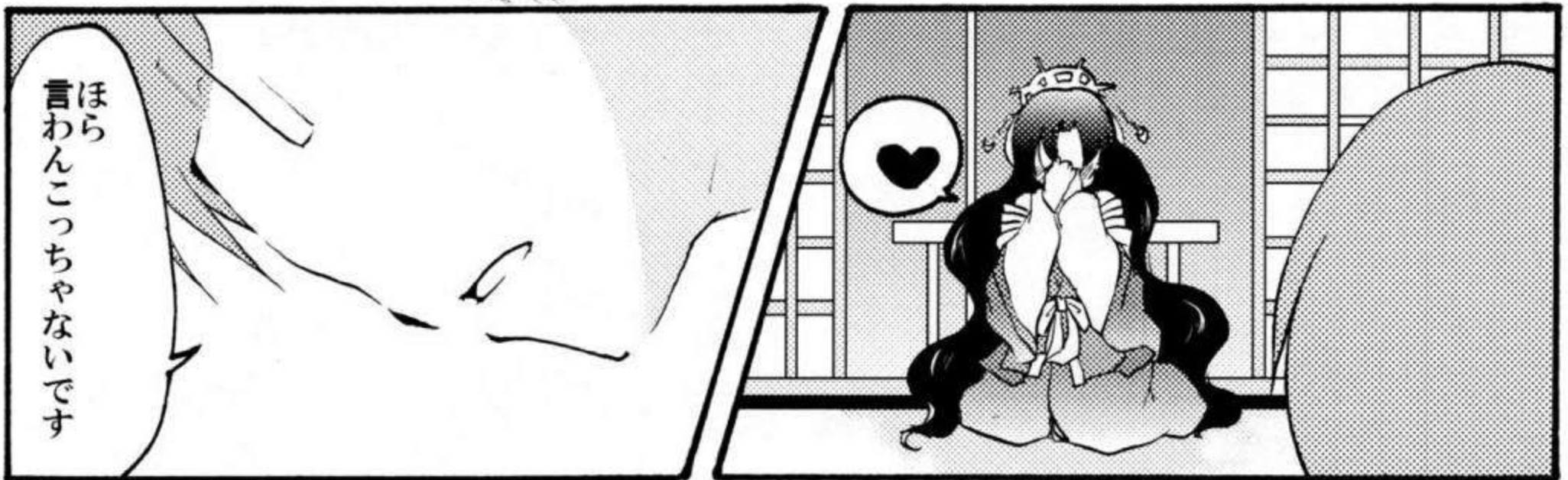
呑み過ぎて吐かれたりしたら  
片づけるのは僕です!!



誰が吐くか!!

このメガネが!!か——え——

程々に  
しておきなさい!!







まさか

そんな事で  
怒っていたのですか!?

朴念仁のクセに  
よく気付いたな  
褒めてやろう!!

あなただけ  
あなたの  
身体なんて...!!



おい月香!!  
コイツ娘の胸  
じろじろ見たぞ!!

もう  
父親と思うな!!

〜ミヤハタの事を〜

あの方が  
あの方が  
あの方が




あなたも年頃の男子の前で裸をさらしたりして

もう少し  
考えて下さい



年  
頃?



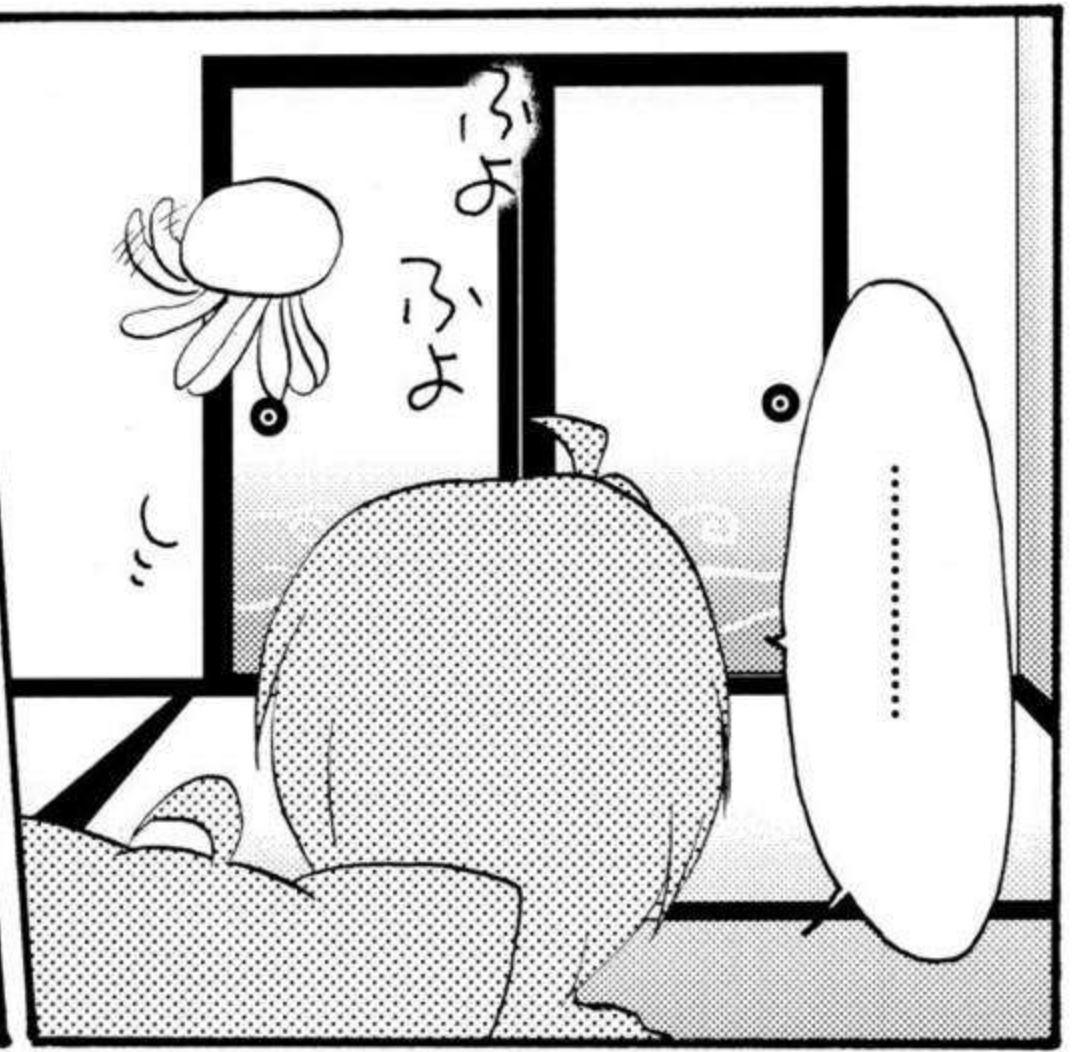
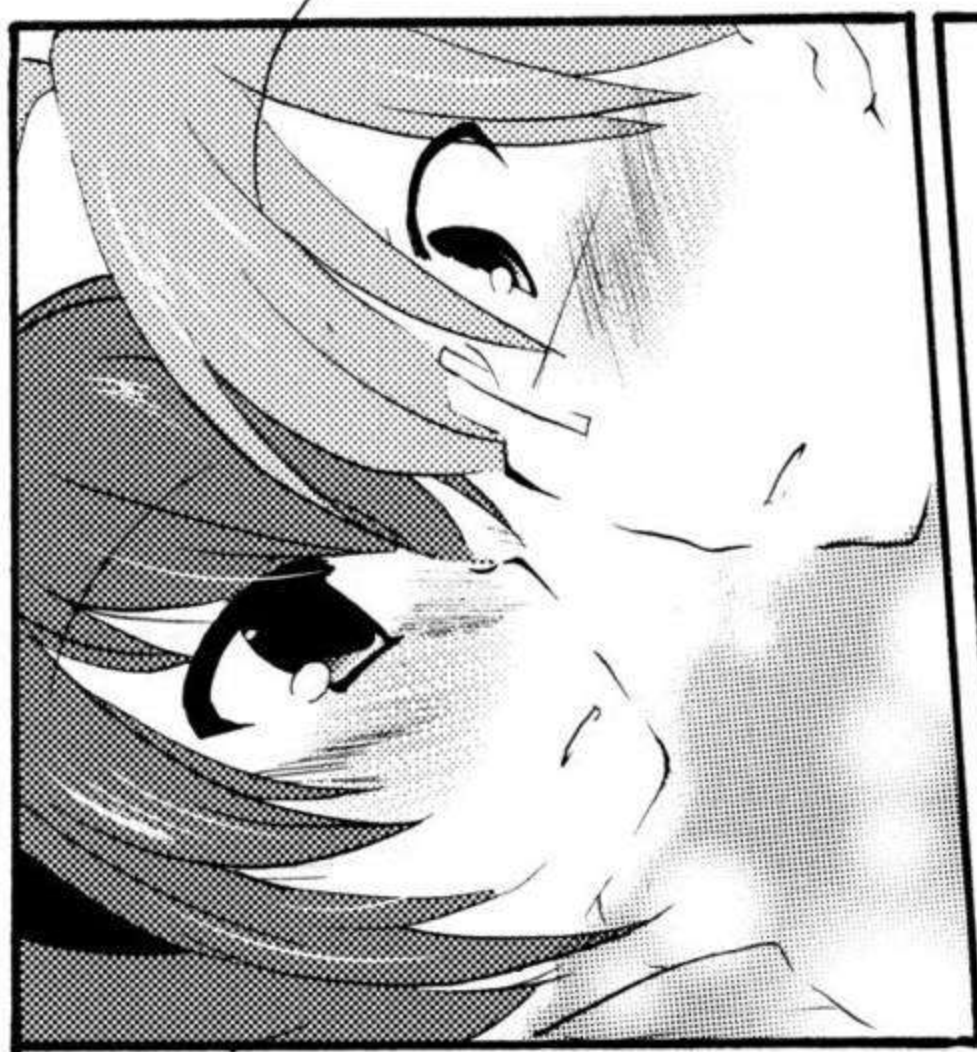


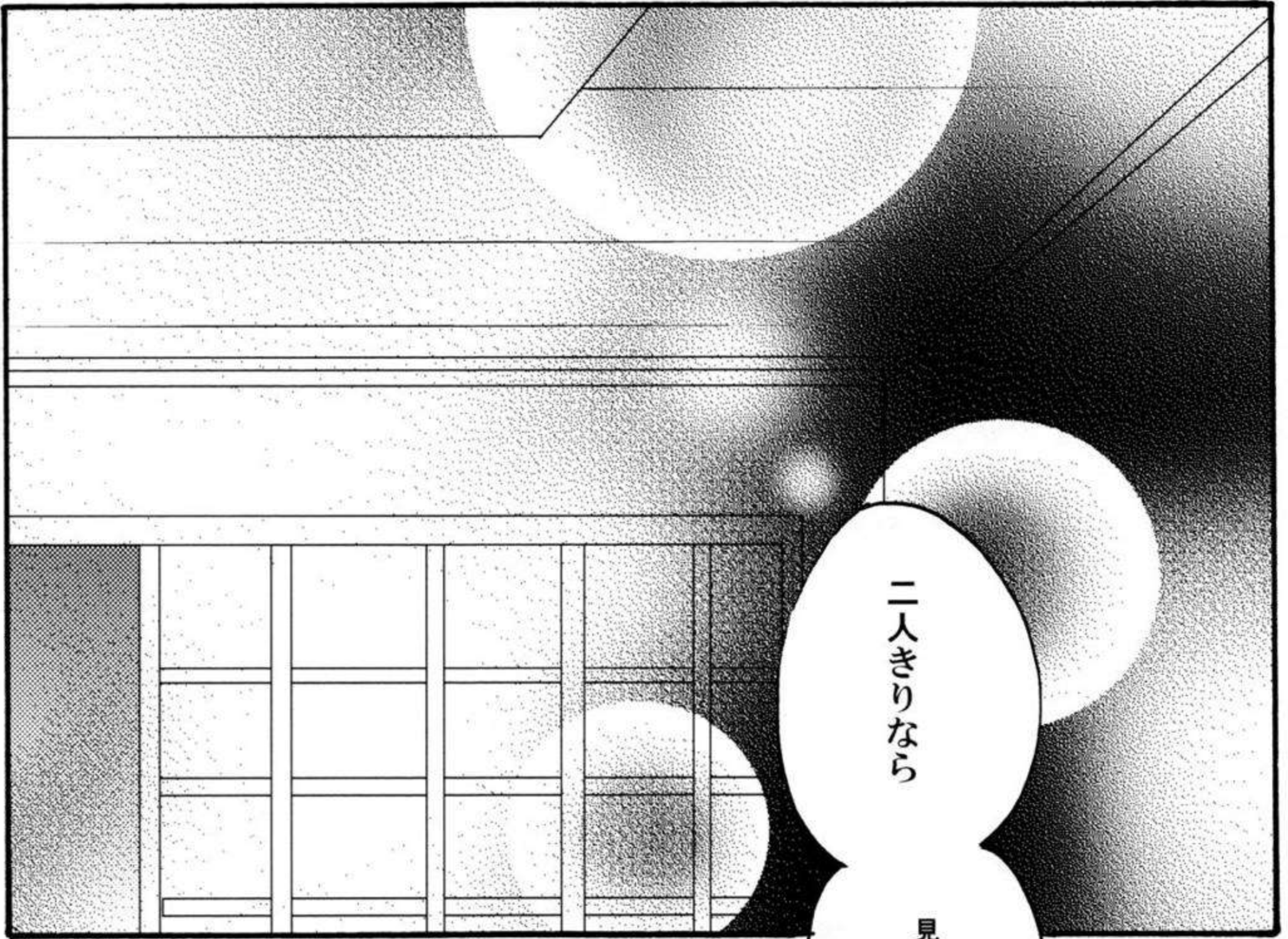
オカマにライオンに  
生物兵器で息子だぞ!?  
貴様どうせ凶華様の身体に興味なんて  
ないクセに適当なこと言っ  
話をそらしおって!!



男の子は男の子でしょう!!  
僕になら見せると言っ  
それなら二人きりの時に…!!

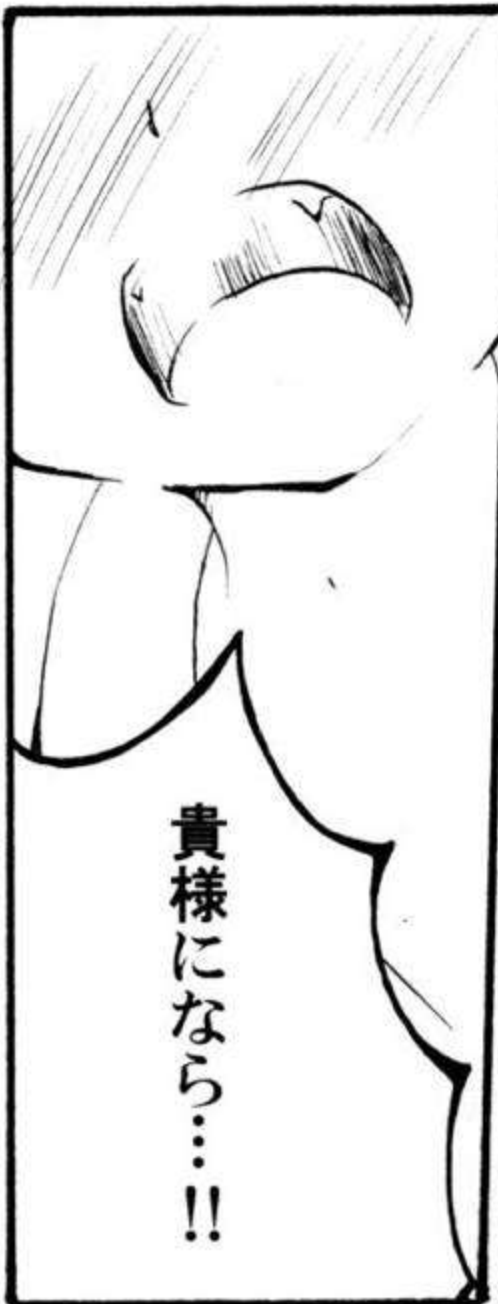






二人きりなら

見たいか？



貴様になら…!!



ア…ア…ア…

そふい  
ワケども…





おがませて  
やらんでもないぞ...?

麗しき裸体

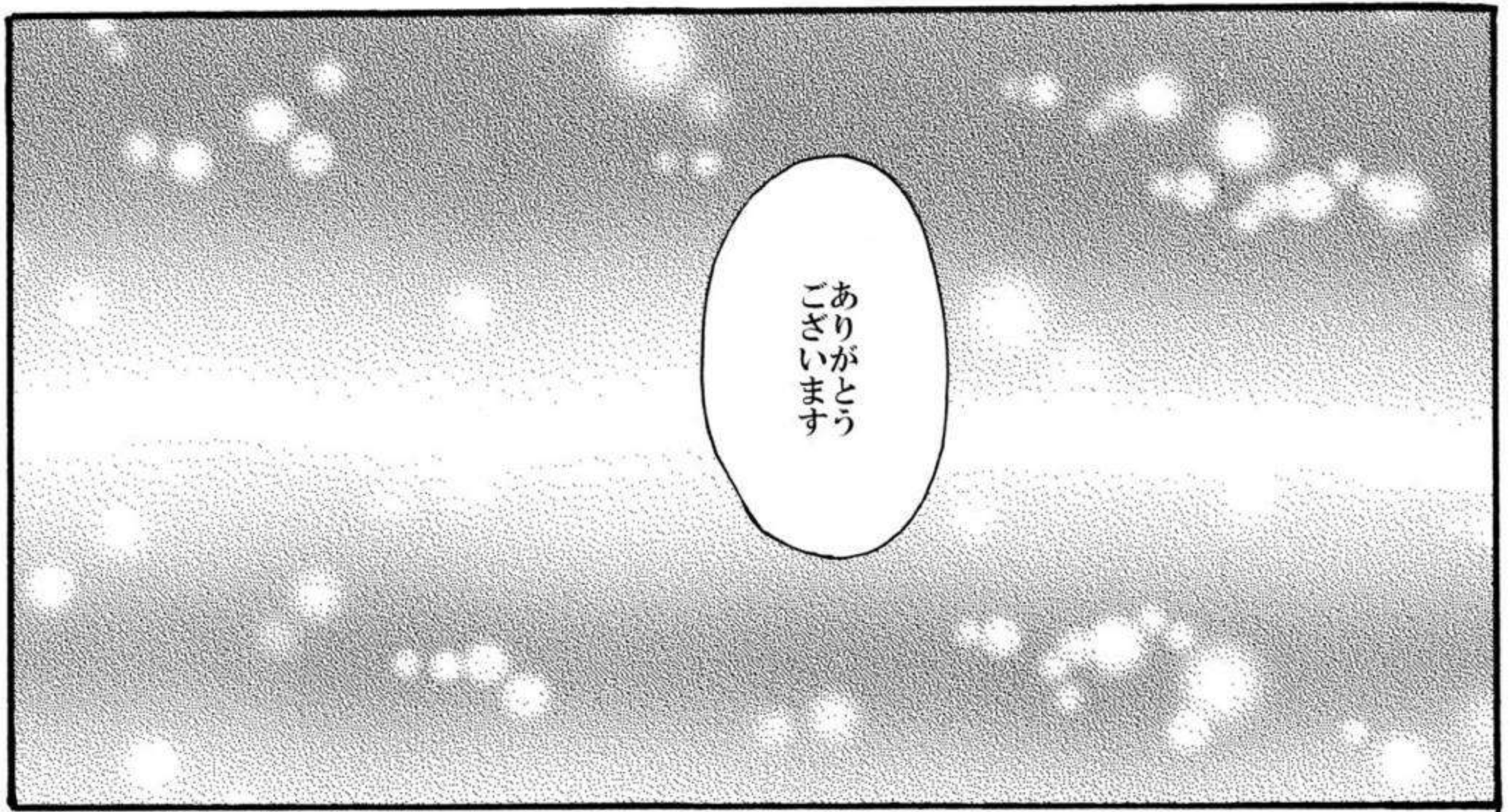
凶華様の



!



カ  
カ





フェミニストなので

だれが!!

本当は酔っ払いを  
襲う程人間やめて  
ないんですが

とか言いながら  
どこ触ってる

あなたに物欲し  
そうな顔してるので

ふっ...  
下着のヒレキョウ

へ!?

と...んな

カオあ  
して...なあ...い

カオあ  
して...なあ...い

カオあ  
して...なあ...い







どうしてですか？  
痛いんです？



しっぺ...  
クセにい...



凶華

はは

うちに  
ロリコンなんて  
いませんでしたね

あ…

そういうば

はは

はは

はは

凶華

はは



興味を持つ人間は  
うちにいません

やっ あ…あ!?

あなたの裸に

ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ

な…っ

この期に及んで  
何を言い出す!?



なんて壁の  
薄い…!!

なんでそんなに  
音量上げるのさ

姉様  
さっぱり耳を  
塞ぐ意味が  
わからないよ

また  
夫婦喧嘩で  
あるか

あーあーあーあー  
あーあーあーあー  
あーあーあーあー

※隣の部屋でした



だから僕が  
あなたに  
欲情するのは

ぎゅん

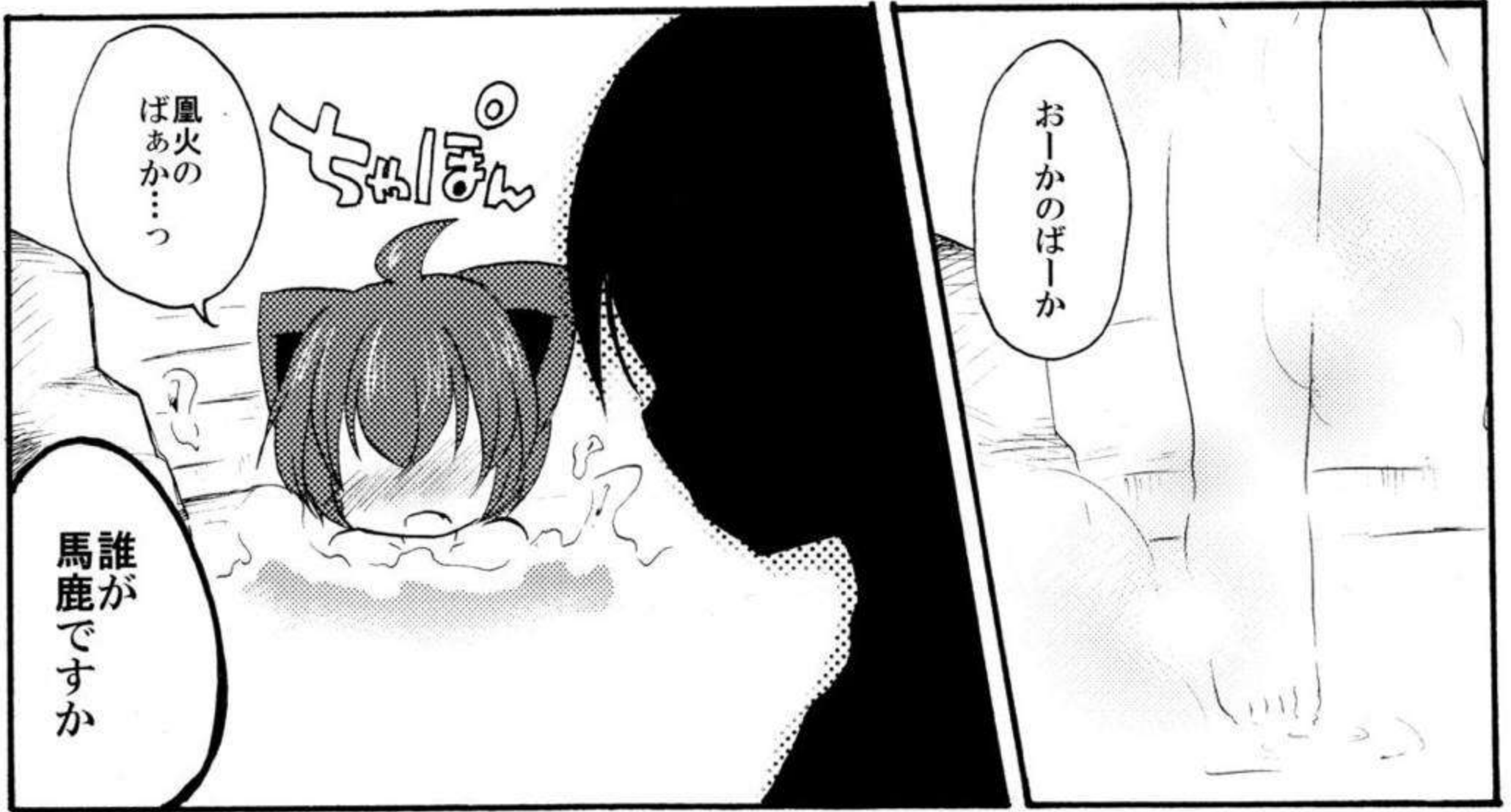














別にそんなに逃げなくても

あゝあ

あゝ



それともなんですか  
昨日のことまだ怒って...?

あゝ



ほっ ほか変態っ  
昨日のｱｼで未だに怒ってるわけないだろうが

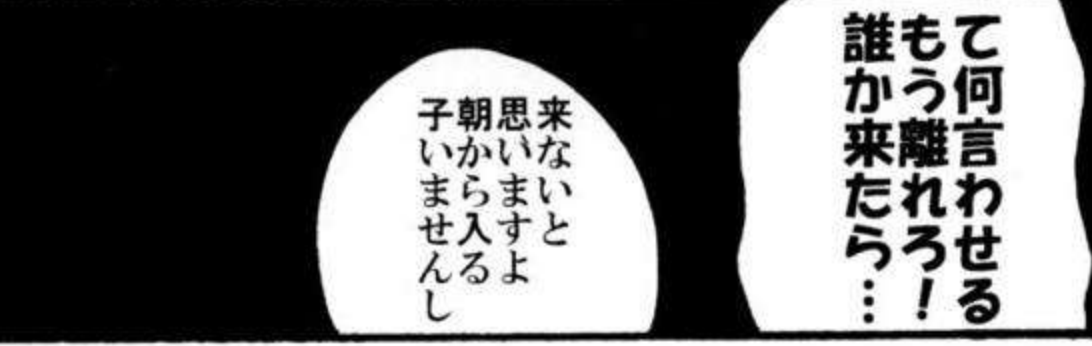
かまやあ

あ...かるいところで  
風火の裸見たら  
なんかときどき  
し...て...



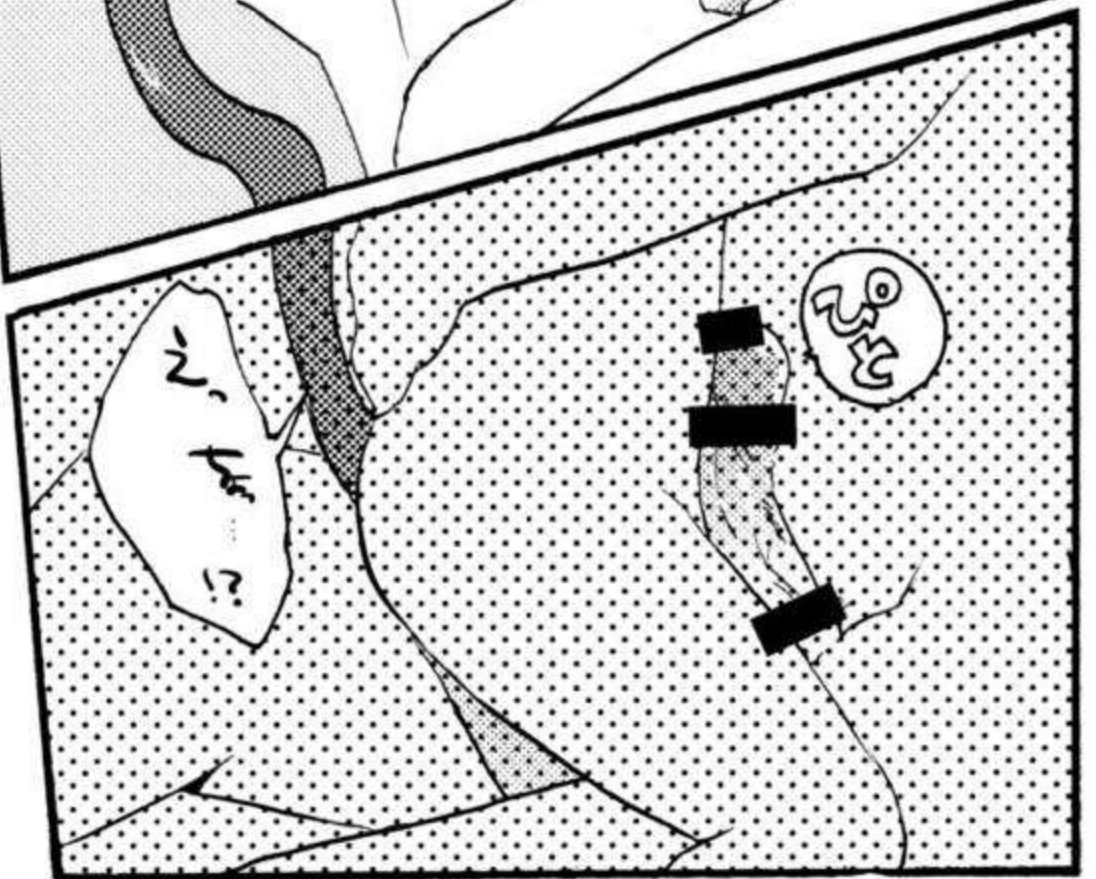
おっ

昨日は悪かったですね  
...ここでああなたの  
姿をみたらもう  
こんなですよ...



て何言わせる  
もう離れろ!  
誰か来たら...

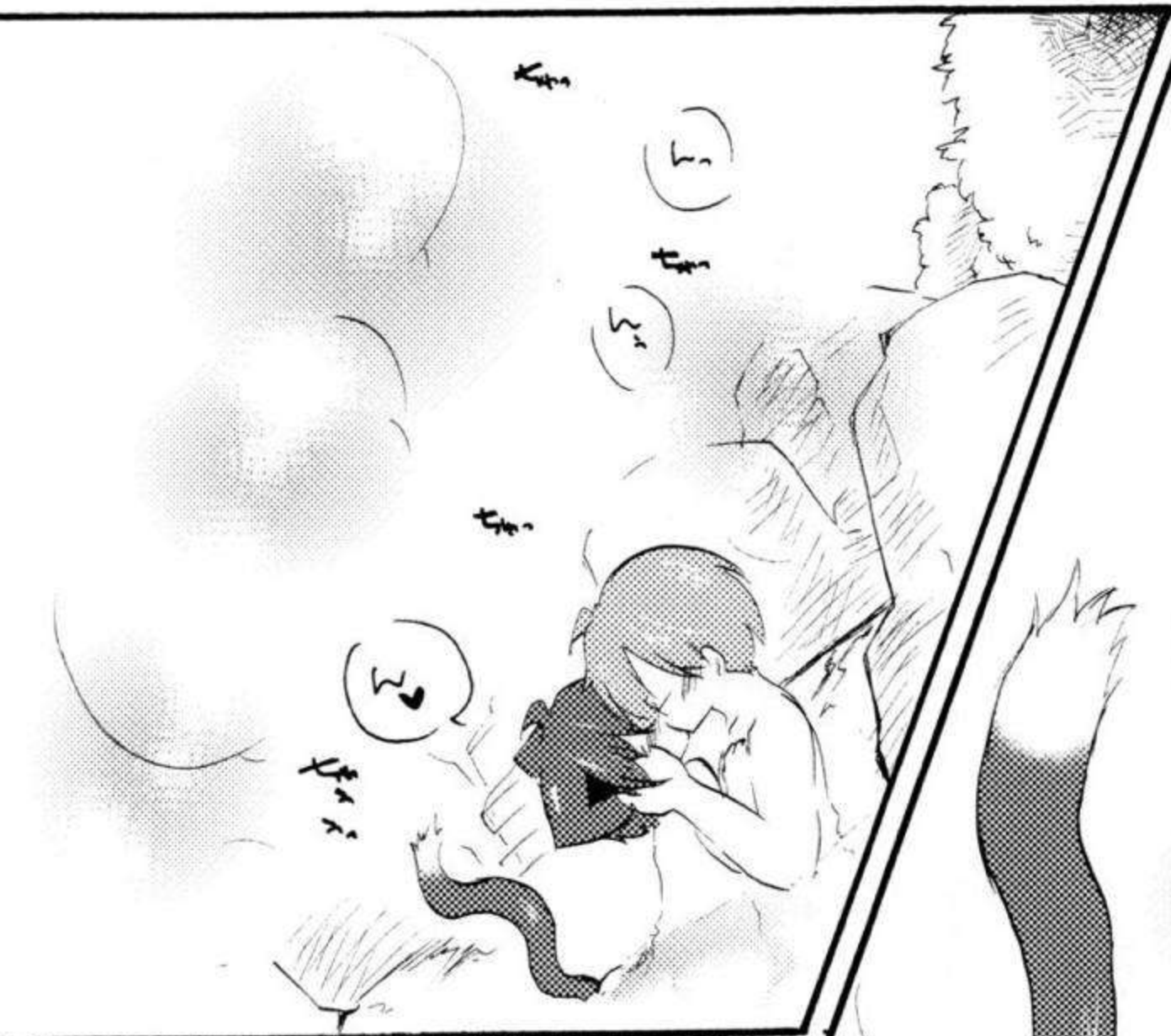
来ないと思  
いますよ  
朝から入る  
子いませんし

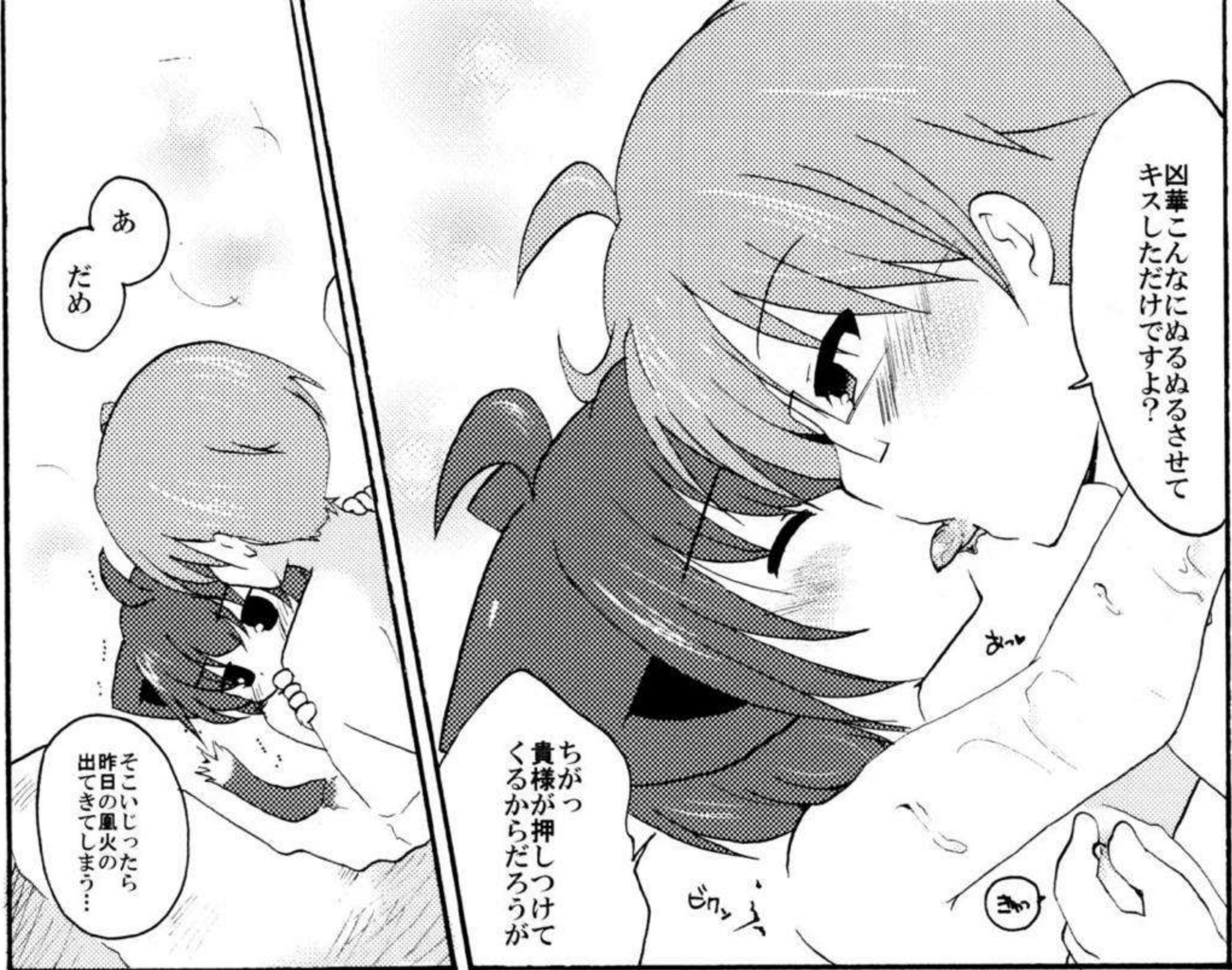


ひび

え...?

そ...か  
な...なあ...?



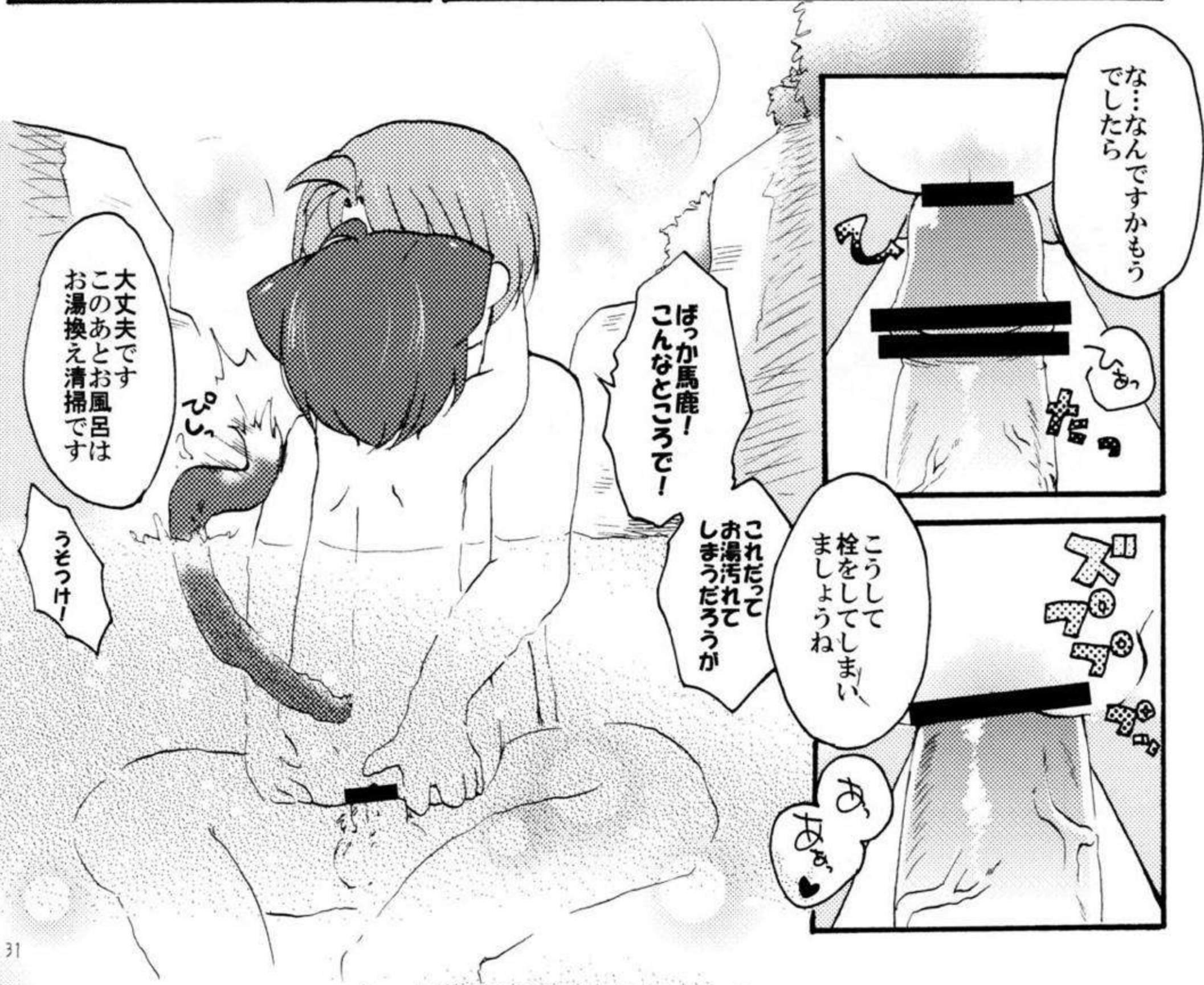


凶華こんなぬるぬるさせて  
キスしただけですよ?

あ  
だめ

そこいじつたら  
昨日の風火の  
出てきてしまう...

ちがつ  
貴様が押しつけて  
くるからだろうが



で...なんですかもう  
でしたら

ほっか馬鹿!  
こんなところで!

大丈夫です  
このあと風呂は  
お湯換え清掃です

うそつけ!

これだっ  
てお湯汚れて  
しまっ  
たらうが

こうして  
栓を  
してしま  
いませ  
うね

あ  
あ  
あ

仕方ないですね  
でしたらこの格好で…

馬鹿!!馬鹿!!  
解決になつたらん!  
これだつてお湯  
よごす…し…

誰かに  
見られたら…

ほらっ 見られてる  
ではないか!!  
むり…っ やだっ…

恥ずかし…あっ  
死んでしま…うっ…やあ

誰もいませんって  
見られませんって

あははは



やっぱやだ  
お湯入るっ

え!?  
ちよもじう...

おしん

NEXT ゲスト様によるめがね温泉小説



熊殺し湯



おーかのばーか...

めいお

たて...ない



温泉。

様々な効能と温浴効果によりその湯に身を浸す者を癒す、古来よりの和みの場。

勿論この大日本帝国にも数多存在し、医療目的の湯治客のみならず観光を兼ね娯楽として訪れる客は絶えることが無い。

例えば、家族旅行として。

例えば、仲間内の小旅行として。

例えば。

「おおい鳳火見ろ！珍妙な形の飴ちゃんがあるぞ！あれ欲しい凶華様アレ欲しい！」

「何ですかまた変なものを……買いません断固として買いませんっていうか僕は何も見ていませんのでやあ間欠泉が噴出していますよ壮大ですねぇ」

「おいそこな売店の親父よそのけったいな飴をこの凶華様に差し出すがよい！代金？そんなものこの眼鏡から幾らでも徴収すればいい！なに、妻の買い物を夫が支払うのは古来より至極当然の成り行きであろう？だからねえダーリン買って買って！」

「だから買わないと言つて、ああもう食べ……仕方ないですねこのハニハ……はい、お代です」

新婚旅行として。

近年大日本帝国で密かに人気急上昇中なのだというその温泉郷を見つけてきたのは、例によって愛する子供たちだった。

曰く、お父様とお母様はもつといちやいちゃするべきだと思ふの。

曰く、でもお父さんはあたしたちの前だと素直になれないでしょ？

曰く、ならば二人きりで旅行でも出かけてみてはいかがであるか。

曰く、良さげな場所は調べておいたよ。ええっと座標はね。

曰く、ふむその場所なら帰りはどうにか自力で大丈夫じゃな。

曰く、いつてらっしゃい！おみやげは弟か妹がいいな——

口を挟む暇もなく話は進み異論を提唱する隙もなく飛ばされ、密かに纏められていたらしい荷物と共に転がった鳳火の頭上に掲げられていた看板は——『子宝温泉・桃源郷』。

どうやらこの地の温泉の効能のひとつはそれであるらしい。確かに周りを見渡してみれば、どちらかというところ年配客の多い部類であろう温泉地には珍しい位の若年層が多く見受けられる。新婚旅行先として人気を博しつつある、そのことは事実であるようだ。

事実だとしても。鳳火はもう一度ぐるりと周囲を見回して、なるべく視認しないようにと意識を外していた街の装飾を改めて眺めて溜息を吐く。

「……開き直りが良いって言うんでしょうかねえ」

「？何か言ったか鳳火？え、凶華様がプリティーすぎて生きるのが辛いって？やだもう恥ずかしいこんな往来で！でも鳳火がそこまで言うのなら凶華様だってやぶさかではない！じゃあここで盛大にキキキキキキキスのひとつでも」

「盛らないでくださいこんな往来で」

頬を染め身体を寄せてくる妻を華麗に躲す。既に陽は落ちてはいえ、只でさえ目立つ容姿なのだからあまり人目を引くようなことはしたくない。痛い。下駄で渾身の蹴りを繰り出さないうで欲しい痛い痛い。

暴虐に耐えつつ人波をすり抜け、滞在先の宿へと向かう。その道中でも嫌と云うほど目につく——あまりにも明け透けなこの温泉郷の方向性。

看板、モニメント、敷き詰められたモザイクタイル、店先に並ぶ土産物。凶華の右手に握られている棒飴の形まで。

「効能が子宝？だからって、何も街中をこんな破廉恥にしないでいいでしょうに……」

名前に冠する桃に紛れてそこかしこに溢れかえる生殖器の造詣に、自称常識人の鳳火としては頭が痛くて堪らない。

「おおどつした鳳火よ座り込んでしまつて？あ、わかつた前屈みというヤツだな？やーいやーいどすけべ！ど助平眼鏡！そんなに浴衣姿の凶華様はせくすいーか……」

「断じてそのような事態ではありません」

「やだアもうダーリンたら照れちゃつてウフフ」

「はっはっは痛い痛いやめてくださいハニーあっはっは」

その飴で殴るのは本気で止めてほしい色々な意味でダメージを受けるから。べたべたするし。

「早くその飴食べきってくださいよ。それが袋にでもしまってください」

「んむ、でもな鳳火」

れろん、と先端を舐めながら凶華は飴が包まれていた袋を鳳火に渡しに行く。

「その袋の但し書きによるとだな、この飴は一度舐め始めたら噛んだり割ったりせずに最後まで舐めきらんとはいかんらしい。ちゃんと舐めきつたら温泉の効能マシマシ子宝がつぼがつぼ」

「何ですかその胡散臭い謳い文句」

「なんかこの土産の一番人気らしいぞこれ。世も末だな。それはまあ置いといてだな、舐めきらなかつたら効能半減どころか罰が当たるそう。主に貴様に。貴様の下半身に」

理不尽すぎる。土産物のくせに。キワモノのくせに。しかし確かに飴とはいえその形状のものを噛み砕いたり割ったりという行為は男としてはいたたまれないものがある。主に下半身が。

「味は悪くはないぞ？ピンク色だから莓味かと思ったが、これは桃だな。甘い」

「そういえば桃に纏わる回春型のお伽噺もありましたっけね……どこまで凝っているんでしょうこの温泉は。ああよく考えてみれば桃のフォルムも確かに何かを思い起こさせて」

「んん、貴様の言うことはよくわからんが」

口中から引き抜いた飴を鳳火に突きつけながら、凶華は薄い胸を張って告げる。

「つまり——こんなにも御誂え向きな場所を選んでくれた子供たちには、それ相応の土産が必要ということだな？」

翠の瞳にちらりと揺れる熱の予感に、鳳火は思わず息を飲む。

「——ええ。楽しみにしているでしょうし」

につこりと笑って、鳳火は妻の手を取った。

「それはそうとその飴、あんまりこっちに向けなくてくださいね」

「むう何故だ美味いぞ？鳳火もぺろぺろするがいいほれほれほれほれ」  
「嫌ですやめてくださ押し付けしないで押し付けしないでらめえええ」

「——ほら、凶華」

ひくく耳に囁きを注がれ、ぞくりと身体中を甘い痺れが駆け抜ける。

「っあ、ああ、鳳火、っそれ、抜い、っ、あああ！」

抜き差ししことに粘度を増す水音がやけに耳について羞恥を煽る。

「おや、何故です？……美味しいんでしょう？もっとよく味わってください」

抗議も嬌声も塞ぎ止める唇と舌が、意識も理性も曖昧に掻き乱す。

「ああ、あ、っあ、だめ、おーかそれだめ、ええ」

膣内を掻き回す異物感に凶華は身体を振る。

「だめ、ですか？ああ、こんなに美味しそうに啜え込んでいるのに」

「っああーや、やああそんな、に、じゅほしゅほするにやああ」

夜気に溶ける甘い香りが段々と濃くなっていく。桃の香り。甘い甘い、

ひどく甘い。

「た、食べ物で、っ、遊んだ、らああ……っいかん、と、教わらなかつたのか貴様、っあああん！」

「遊んでなんかいませんよ？ちゃんと食べさせてるじゃないですか。下のお口にね」

にっこりと笑う、その眼鏡の向こうの目に宿る淫蕩な炎に焦がされてしまいそうだ。蕩けそうな快感に乱されながら、凶華はただ鳳火を求めて嬌声を上げる。

「あ、あ、あああ、あ、そこ、ぐりぐりされたら、っああああ！」

「されたら？どうなってしまうんです？ああ、あなたはここを突かれるのが悦いんですよね。知っていますよ」

怒張しても生物的な柔さの残る陰茎とは違い、熱の無い固さで挿入を繰り返す棒飴の感覚は凶華にとって初めての物だった。

身体を繋ぐ相手は鳳火以外には存在しないし、その鳳火もノーマルとどうか堅実的というか正直地味とどうか至極普通のセックスしかしていなかった。多少サディスティックに攻められることはあっても、何かしら道具を用いての——しかも形状がそれであるとはいえ食べ物を使つての行為など、自称常識人であるらしい鳳火にしてみればあるまじきことなのだが。

「ああ、いつもこんな風に締め付けているのですね。凶華のここは」

「や、見るな、っそんなとこ、み、っあああ！」

「だって普段はなかなか見られませんからね。ああまたとろとろになっ  
ていますよ、ここ」

視線と言葉に煽られて、奥から溢れる蜜が量を増す。腰の下に横たわる浴衣どころか布団にまで滲みそうなほどに潤んで尚も濡れるそこは、弱い抗議を繰り返す口とは裏腹に快感を啜え込んで離そうとはしない。

鳳火の手によって突き入れられる飴は、土産物として並べられていた一時間には怒張した男性器の姿を模していた。ディフォルメが施されさしてリアルな形状ではなかったものの、おそらく大きさとしては一般成人男性の平均以上に強調され仕上げられていたそれは既に大分溶けてしまい形を変えている。

「ほら、見てください凶華。あなたが一生懸命食べるものだから、こんなにも溶けてしまつて」

「っあ……や、ちが、っ」

ずるりと引き抜かれ目の前に差し出されたそれは熱を纏う摩擦で馴染むサイズにまで削られ、蜜を絡めててらてらと淫猥に光っている。つまり、凶華の内側を狂おしい程の快感とほんの僅かな切なさで抉る、鳳火のそれと同程度に。

「っ……鳳火、あ……」

本物の陰茎と同様に膨れ抉れた先端に舌を絡ませると、鳳火がまる

で自身をそうされているかのよう息を詰めたのがわかる。だから凶華もいつものように口を窄め、夢中でそれを味わった。

甘くて、美味しい。

でも求めている味はこれじゃない。

欲しい、と凶華はただそれだけ思った。

鳳火のが欲しい。こんな飴なんかよりも、もっと甘く凶華を満たすものが欲しい。

「鳳火、鳳火あ」

縫り付く凶華の身体を優しく抱き止めた鳳火は瞳を細め、ちいさく震えるネコミミにキスをくれる。

「ああ、すみません凶華。どうにもあなたをいじめたくなってしまった」

「うう、この鬼畜眼鏡めが！凶華様の中に入っているのは貴様だけなのだぞ？その榮譽を一生独占しておればいいものをこんな飴、なんか、を」

「あれ？でも随分と気持ちよさそうにしていましたけど。ええ飴なんかに嫉妬してしまうくらいにね」

「……嫉妬していたのか貴様。わかりにくいデレをするなダーリン」

「すみませんねハニー。でもあなたもいけないですよ。あんな飴を……その、目の前で舐められては」

やらしい気分にもなりません、とひくく囁かれ、

「っ……この助平眼鏡っ」

再び内側の炎が再燃する。

「これも温泉の効能なんでしょうかね」

「馬鹿者。貴様は本当に馬鹿眼鏡だな」

贈られるキスの合間にくすくす笑い合っ、もう一度甘い香りに満たされていく。

「いくら湯に浸かっても飴を舐めても、それだけでは土産にはならんだろっ」

「お土産？……ああ」

そういえば、と思い出したかのように鳳火は笑って。

「じゃあ——作りましょうか。子供たちへのお土産」

凶華を抱きしめた。

桃の香りに包まれて、温泉郷の夜は甘く蕩けていく。

効能が現れるのは、まだもう少し後のお話。

「ところであの飴はどうした？ちゃんと舐めないで貴様の下半身がひどいこと」

「え、まだ引きずるんですかそれ。ああここにありましたよ」

「ふむ。じゃあ責任もって貴様が美味しく頂くといい！あーんして？ダーリン☆上の口かな下のお口かな？」

「えっちよっ待っサイズのリアルで嫌なんですがハニー押し付けないうでくださいせめてそっぢゃなくて上のらめえええ」

お誘いありがとうございました！



めがねこぬこぬこ温泉エロスと聞いて飛び付いたもの  
ご覧のありさまだよ！  
書かせて頂きありがとうございました割腹。

めがね夫婦はいくらでも新婚旅行してたらいいと思います。  
ディケさん以外にもお子をこさえてしまえばいいのに。  
むしろこさえてると信じて疑わない。

瀬浦忍でした。

普段はpkmnやってます。DPTのボスとチャンピオンで諸々と。

スペシャルゲスト

瀬浦忍様

めがねこらしく  
そしてらぶらぶで  
正直失禁ものの  
小説を本当にありがとう  
ございました！！  
どくどく萌えキュン萌え  
生きてて良かった！！

お読みいただきありがとうございました！！  
なんかもう描き直してんのか劣化させてんのかよくわからな…  
でもコマ割とかいと少し違う感じだったことに気づいたり  
面白かったです。

いつもながらのワンパターンなめがねこですみませんぬちぬち。  
お風呂えっちの伝道師せのーら先生の小説で癒されて…って  
思ったら今回お風呂にしてお風呂にあらずですねどっちにしろ  
失禁か失神かっていう萌えキュンですくそう時間があたら  
ちんこ飽おぺろぺろする凶華様をちろっとかきたかったのに…

あ、眼鏡の眼鏡は対策局製曇らない眼鏡だから温泉でも安心です。  
野外羞恥ぶれいはもっとページ数使って凶華様をいじめたかった  
なあまたやろうかなあ…

次はきっともっと余裕を持ってめがねこ。  
懐かしいって言われても負けない…まだだいすき。

では、ありがとうございました！

碧愛こす

「湯けむり温泉夫婦日記」

発行:グラスホッパー  
発行者:碧愛こす  
発行日:2011年12月29日  
印刷:オレンジ工房 様

ichigoyoukan@hotmail.com  
http://ichigoyoukan.blog.shinobi.jp/

※転載、複写、ネットオークション等一般の方の目に触れる  
場所への転売等のご遠慮ください  
※18歳未満の方の閲覧を禁止します  
※原作・関係などとは一切関係のない同人誌です。  
※この本にて性描写のある登場人物は20歳以上です。

超スペシャルサンクス

ちょも大先生様

表紙の塗りレイアウトを  
鬼スケジュールでやって  
下さりまして本当に助か  
ります土下座。  
本文仕上げ手伝いも  
ありがとうございました  
土下座。

2011/12/29 グラスホッパー

